学校番号	112

平成31年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合（古典）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　国語総合（数研出版）						
副教材等	「やさしくくわしい　古典文法　三訂版」（尚文出版） 「クリアカラー国語便覧　第四版」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自ら古語の意味を調べ、古文を読む上で必要な知識を身につけると共に、動詞、形容詞、形容動詞、助動詞といった古典文法の基礎を学び、それらを古文の読解に結び付けられるように知識を定着させていきます。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てること。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。			古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身につけている。	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	入門	教材 ・「古文に親しもう」 ・「児のそら寝」 (宇治拾遺物語)	○			○	○	a: 基本的な古語を理解し、文章読解に努めている。 d: 古語を理解した上で現代語訳し、古文が読めるようになる。 e: 文法・語句を正しく理解し、古文を読む知識が身についている。	a:行動の観察及び記述の点検 d・e:記述の確認及び小テスト 定期考査
	入門	教材 「検非違使忠明」 (宇治拾遺物語)	○			○	○	a:動詞の用法・活用について、理解を深め、作品を通して意味や役割を学ぼうとしている。 d: 古語を理解した上で現代語訳し、物語の流れをつかんでいる。 e: 文法・語句を正しく理解し、古文を読む知識が身についている。	a:行動の観察及び記述の点検 d・e:記述の確認及び小テスト、定期考査、
	歌物語	教材 「芥川」「筒井筒」 (伊勢物語)	○			○	○	a: 形容詞・形容動詞の用法・活用について、理解を深め、作品を通して意味や役割を学ぼうとしている。 d:登場人物の心情を読み取っている。 e: 文法・語句を正しく理解し、古文を読む知識が身についている。	a:行動の観察及び記述の点検 d・e:記述の確認及び小テスト、定期考査
2学期	随筆	教材 「高名の木登り」 「奥山に猫またといふものありて」 (徒然草)	○			○	○	a: 助動詞の用法・活用について、理解を深め、作品を通して意味や役割を学ぼうとしている。 d:現代でも教訓となるような古文に親しみ、理解している。 e: 文法・語句を正しく理解し、古文を読む知識が身についている。	a:行動の観察及び記述の点検 d・e:記述の確認及び小テスト、定期考査
	和歌	教材 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	○			○	○	a: 和歌に詠み込まれた心情や情景を学ぼうとしている。 d: 長歌や短歌の形式をふまえ、リズムに注意しながら音読する。 e: 和歌の修辞や語句の使い方を正しく理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d・e:記述の確認及び小テスト、定期考査
3学期	漢文入門・故事・史伝	教材 ・「訓読のきまり」「格言」 ・「虎の威を借る狐」	○			○	○	a:漢文の基本的用法を理解し、深めようとしている。 d:書き下し文にし、言葉の意味を理解している。 e:句法・語句を正しく理解し、漢文を読む知識が身についている。	a:行動の観察及び記述の点検 d・e:記述の確認及び小テスト、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。